

【北陸地域版】DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版

2026年4月

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

北陸支店・富山事務所

要旨

- 北陸地域（富山県、石川県、福井県の3県。以下同じ）における外国人延べ宿泊者数は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナ」）の影響でほぼゼロに落ち込んだが、2022年末頃より回復の兆しを見せ、2025年には新型コロナ前の水準を大きく上回っている。北陸地域では、欧米豪の旅行者が大幅に増加し、新型コロナ前に比べ多様な国・地域から来訪している。
- 一方、北陸地域における日本人出国者数は、新型コロナ前は概ね年間25万人前後で推移していたが、2024年においても6割程度の回復にとどまっている。
- 当行が（公財）日本交通公社(JTBF)と共同で実施した「アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」によると、北陸エリアへの訪問希望者は、30代・40代の年代や収入の高い層に多く、訪日経験が3回以上のリピーターが6割以上を占める。北陸エリアへの訪問経験者も同様な結果となっており、訪日リピーター客の次なる目的地として北陸地域が選ばれるような施策や、訪問回数の早い段階から北陸地域へ「行ってみたい」と感じてもらえる工夫が求められる。
- 北陸エリアへの訪問意向は8.2%で、国・地域ごとに特色があるが、アジア全体の比率（9.7%）が欧米豪全体の比率（4.6%）を上回っている。一方で、訪日旅行経験者の北陸エリアへの訪問経験について比較すると、欧米豪（7.9%）の比率がアジア全体（7.3%）を上回っており、欧米豪の旅行者は、アジアの旅行者と比較して、実際に北陸エリアを訪問している割合が高いと考えられる。
- 北陸旅行経験者の体験したことは、「自然や風景」・「温泉」・「伝統的日本人料理」・「史跡や歴史的な建築物」等の割合が高く、体験したいことの上位と体験したことの上位は概ね一致している。また、欧米豪居住者は、北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに「伝統工芸品（見学・体験）」や「日本庭園」など、日本の文化への関心の高さがうかがえる。
- 北陸旅行経験者は訪日旅行経験者（全体）と比較して滞在日数が長い傾向がある。日本旅館（温泉あり）への宿泊を希望する割合は80%超に達するが、実際に宿泊した割合は60%を下回っている。訪日の際には、生活様式に合った西洋式ホテルを選択する旅行者が一定数存在すると考えられる。
- 日本の各地で夜間に体験したいこととして、「ナイトマーケット食べ歩き」、「夜景観賞」等の食事や体験への関心が高い。夜間にできる体験を充実させていくことは、旅行者の滞在時間を延ばし、消費の活性化・地域の魅力向上に寄与するものと考えられる。
- 北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに興味のある伝統工芸品としては、「織や染によるファッション・小物類」、「陶磁器」の体験や購入について関心が高い。また、「漆器」は、訪日旅行希望者（全体）と比べて北陸旅行希望者の方が、体験や購入を希望する割合が高い。北陸地域には、九谷焼、輪島塗など日本を代表する伝統的工芸品が多数存在する。訪日外国人旅行者の「伝統的日本人料理」の体験ニーズと、文化体験の連動・融合を図り、ガストロノミーリズムとして北陸地域の更なる魅力発信につながることを期待したい。

（北陸支店 小林賢弘、西田早織）

目次

Section 1. 北陸地域のインバウンド動向	P.03
Section 2. DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版	P.09
➤ 調査の概要	
➤ 「北陸旅行希望者」の回答者属性	
➤ 「北陸旅行経験者」の回答者属性	
➤ 北陸エリアの認知度・訪問意向・訪問経験	
➤ 日本の各地で体験したいこと（北陸旅行希望者）・体験したこと（北陸旅行経験者）	
➤ 日本の各地で体験したいこと（北陸旅行希望者）の地域比較	
➤ 直近の日本旅行で利用した宿泊施設と希望する宿泊施設（北陸旅行経験者）	
➤ 日本の各地で夜間に体験したいこと（北陸旅行希望者）	
➤ 興味のある伝統工芸品（北陸旅行希望者）	
コラム	P.22
➤ コラム①インバウンドとアウトバウンドの好循環を！	
➤ コラム②クルーズ船で認知度UPを！	

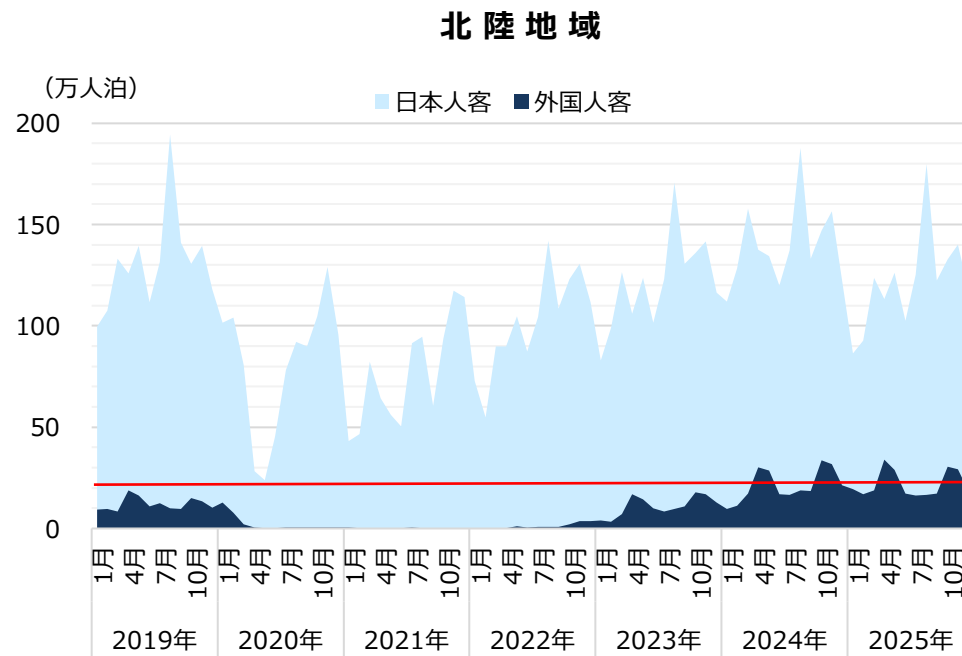
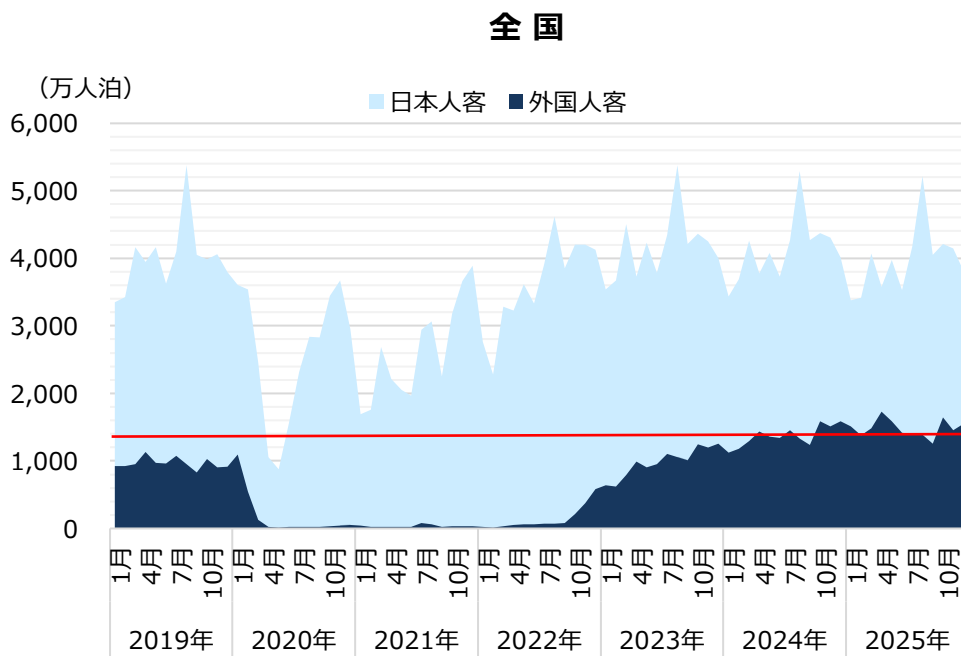
Section 1

北陸地域のインバウンド動向

外国人延べ宿泊者数①

- 2019年からの月別外国人延べ宿泊者数をみると、全国では2019年は1,000万人泊前後で推移していたが、2020年に入ると新型コロナの影響を受けほぼゼロとなった。その後、2022年11月頃から回復を始め、**2024年には新型コロナ前の水準を超えるまで回復し、2025年にかけてさらに増加傾向にある。**
- 北陸地域においても、全国の動向からはやや遅れがみられるものの、概ね同様の動きを見せており、**月別外国人延べ宿泊者数は2025年には約22万人泊まで増加し、新型コロナ流行前の水準を大きく上回っている。**
- 北陸地域の外国人延べ宿泊者数は季節繁閑が大きく、4月-5月並びに10月-11月に集中する傾向がある。

月別外国人延べ宿泊者数（2019年～）

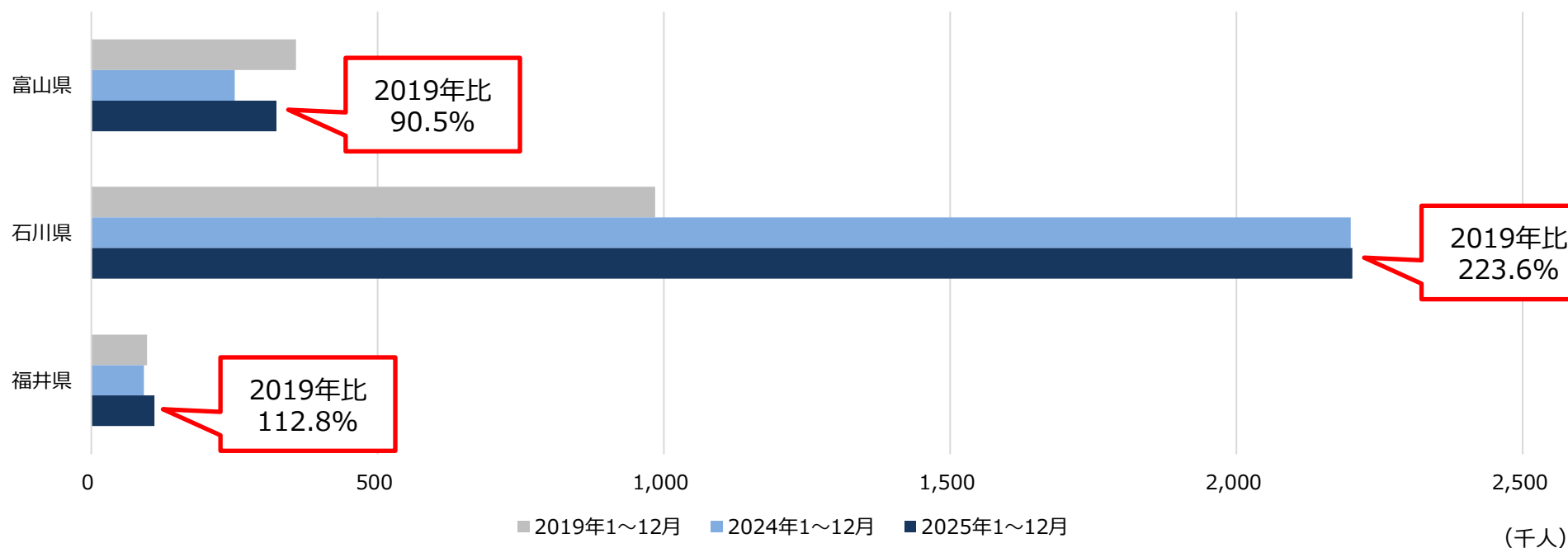


※赤線は、2025年1月～12月の月別外国人延べ宿泊者数の平均値

外国人延べ宿泊客数② 新型コロナ前後の比較

- 新型コロナ前後（2019年、2024年、2025年）の都道府県別外国人延べ宿泊者数を比較すると、**石川県で大幅に増加している**。ゴールデンルートである**東京-大阪間を周遊した際の立ち寄り需要や、金沢を拠点とした観光需要**が宿泊者数の大幅な増加につながったと推察される。
- 一方で、富山県においては、依然新型コロナ前の水準まで回復していない。福井県においては新型コロナ前の水準より増加しているものの、絶対数は北陸地域の中で最も少なく、今後、宿泊者数の更なる増加が期待される。
- なお、外国人延べ宿泊者数と、日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外客数には大きな差があり、国や地域ごとの滞在日数の違いが表れていると考えられる。

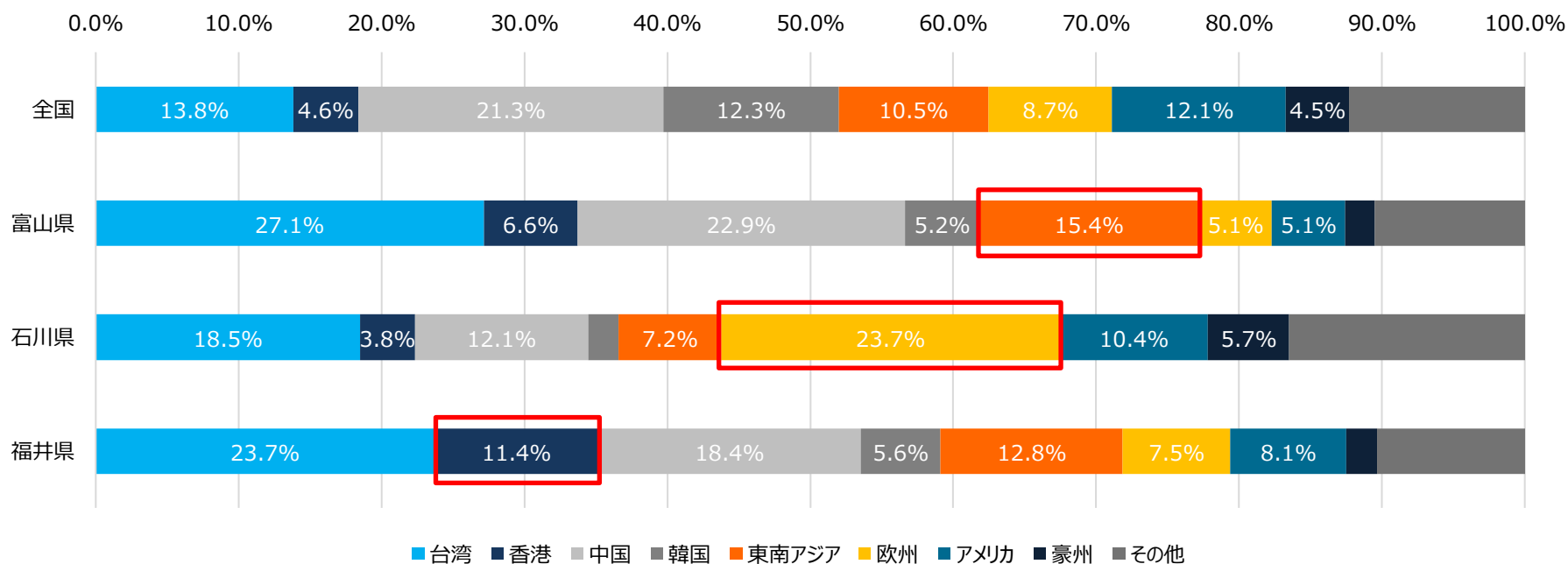
都道府県別外国人延べ宿泊者数



国・地域別構成：北陸地域の特徴① 全国との比較

- 足下の北陸地域の外国人延べ宿泊者数の国・地域別構成比をみると、全国と比べ台湾の割合が高い（台湾の割合は、全国13.8%、富山県27.1%、石川県18.5%、福井県23.7%）。
- 各県別にみると、富山県では東南アジア（全国10.5%に対し、富山県15.4%）、石川県では欧州（全国8.7%、石川県23.7%）、福井県では香港（全国4.6%、福井県11.4%）の割合が高いといった特徴がある。

外国人延べ宿泊者数 国・地域別構成比（2025年1月～12月）



サンプルサイズ（千人）：全国 142,500、富山県 275、石川県 1,795、福井県 95

（出所）観光庁「宿泊旅行統計調査」（2025年は2次速報値）

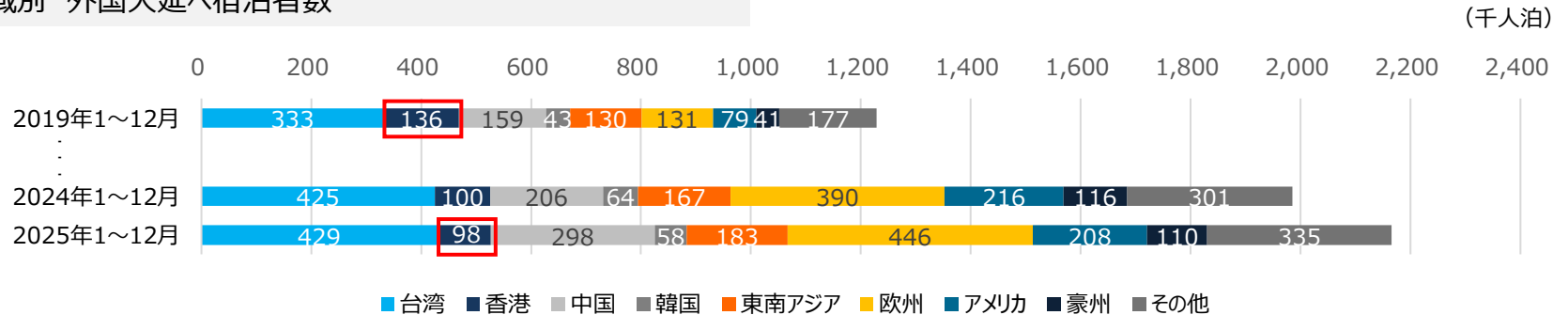
（注）東南アジア：シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン、欧州：イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン。

国・地域別構成：北陸地域の特徴② 新型コロナ前後の比較

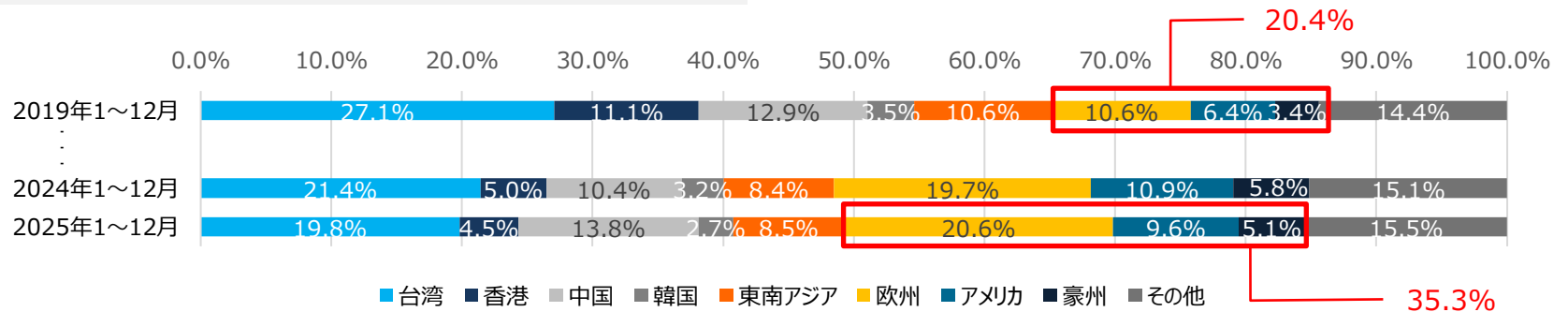
- 北陸地域の新型コロナ前後（2019年、2024年、2025年）の国・地域別の外国人延べ宿泊者数を比較すると、ほとんどの国・地域が新型コロナ前の水準より増加しているが、香港はまだ十分に回復していない。
- 国・地域別構成比では**欧米豪が大幅に増加**し、欧州・アメリカ・豪州を合わせると、20.4%(2019年)から35.3%(2025年)となっている。
- 新型コロナ前に比べ多様な国・地域から来訪しており、**訪日外国人旅行者の意向を国・地域ごとに把握する重要性が高まっている**。

北陸地域

国・地域別 外国人延べ宿泊者数



国・地域別 外国人延べ宿泊者数構成比



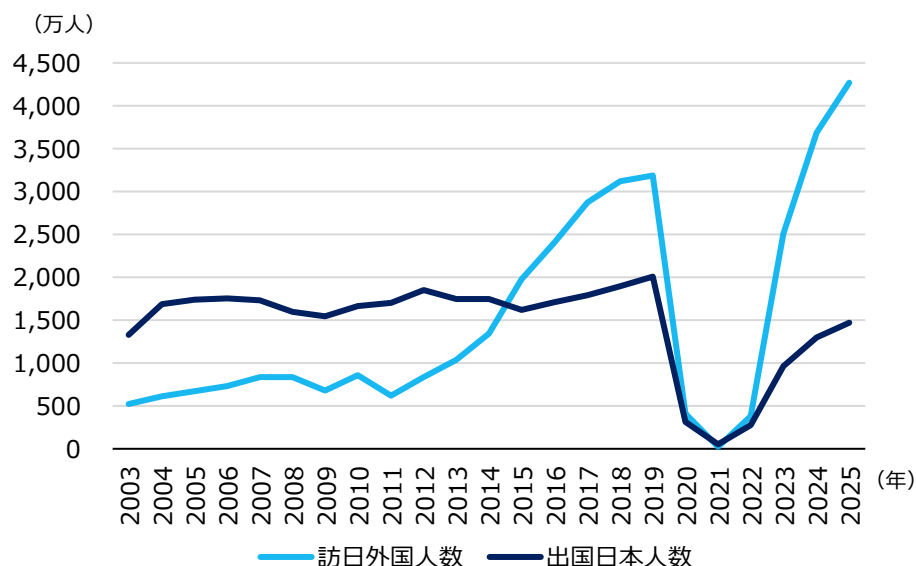
(出所) 観光庁「宿泊旅行統計調査」(2025年は速報値)

(注) 東南アジア：シンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピン、欧州：イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・スペイン。

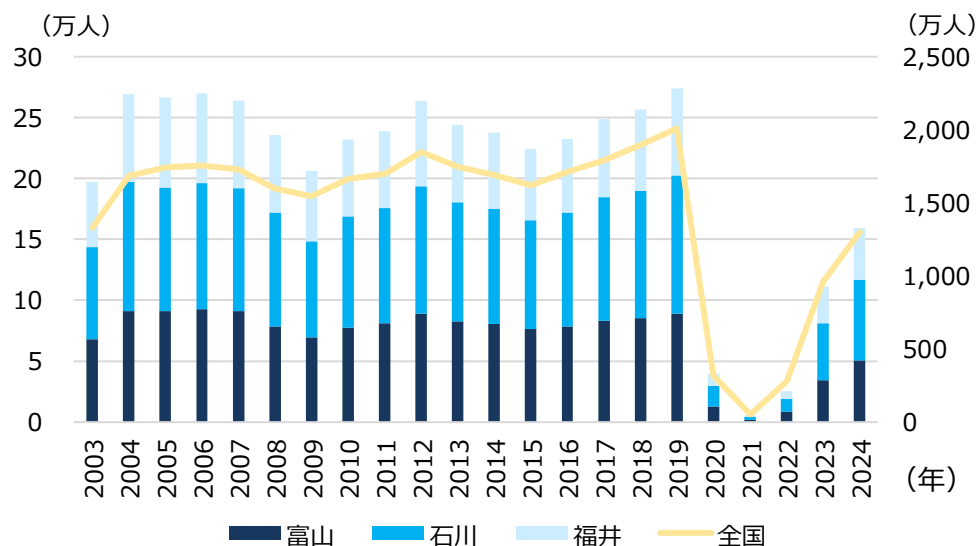
訪日外国人旅行者数と出国日本人数の比較

- わが国では2003年に「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を開始して以降も、訪日外国人旅行者数は年間600-800万人前後で推移していたが、ビザ発給要件緩和等をきっかけとして2013年には年間1,000万人を突破し、2015年には出国日本人数を初めて上回った。
- 新型コロナの影響で出入国はほぼゼロとなったものの、訪日外国人旅行者数は急激に回復し、2025年には4,268万人となった。
- 北陸地域における日本人出国者数は、新型コロナ前は概ね年間25万人前後で推移していたが、2024年においても6割程度の回復にとどまっている。そうした中、北陸地域では、2026年3月29日より小松空港・ソウル（仁川）直行便が週3便から週7便に増便し、毎日運航されている。仁川国際空港での乗り継ぎ利用も便利になるため、今後の北陸地域における日本人出国者数に新たな動きが生じる可能性がある。

全国の訪日外国人旅行者数・出国日本人数の推移



北陸地域における出国日本人数の推移



新型コロナ前からの回復率（2019年比）

全国	富山	石川	福井
65%	57%	58%	60%

Section 2

DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版

当レポートの位置づけ

- (株)日本政策投資銀行 (DBJ) 産業調査部および(公財)日本交通公社 (JTBF) は、共同で「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」(調査期間：2025年7月7日～7月16日)を実施した(以下、「本調査」という)。
- 本調査はDBJが2012年より継続的に実施しているアジア・欧米豪 12 地域 (欧米豪は2016年より調査対象に追加)の海外旅行経験者を対象にしたインターネットによるアンケート調査で、2015年からはJTBFと共同で調査を行い、以降、毎年、調査及び調査結果のリリースを行っているものである。
- 当レポートは、DBJ北陸支店・富山事務所が、本調査のデータから北陸地域訪問希望者や経験者のデータを抽出し、集計・分析したものである。本調査の結果については、「DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」(2025年11月公表)をご参照いただきたい。

【概念図】



「DBJ・JTBFアジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」のデータから、北陸支店・富山事務所が北陸地域訪問希望者・経験者のデータを抽出・分析

【北陸地域版】

DBJ・JTBFアジア欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版
(当レポート)

調査の概要

調査の概要

- 調査方法： インターネットによる調査
- 実施時期： 2025年7月7日～7月16日
- 調査地域： 【アジア】 韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア
【欧米豪】アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス
 (注) 中国は北京及び上海在住者のみ（割合は北京50%：上海50%）
 (注) アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスは2016年度調査から追加
- 調査対象者： 20歳～79歳の男女、かつ、海外旅行経験者
 (注) 中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、オーストラリア-ニュージーランド間、イギリス・フランス-欧州各国間の旅行については、海外旅行経験から除く
- 有効回答者： 上記各地域に居住する住民計7,413人
- 協力会社： (株)インテージリサーチ、DBJデジタルソリューションズ(株)、KANTAR JAPAN Inc.（アンケートモニター抽出・配信）

(注)当レポートで紹介している設問の対象者と定義は、以下のとおり。

全員……………本調査の回答者全員

訪日旅行希望者（全体） ……今後、観光旅行したい地域として「日本」を選択した対象者

北陸旅行希望者 ……「訪日旅行希望者」のうち、観光旅行したい地域として「金沢」、「富山」、「立山/黒部」のうちいずれか1地域以上を選択した対象者

訪日旅行経験者（全体） ……「日本」を訪問したことがあると回答した対象者

北陸旅行経験者 ……「訪日旅行経験者」のうち、訪問したことがある地域として「金沢」、「富山」、「立山/黒部」のうちいずれか1地域以上を選択した対象者

有効回答者数等

有効回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
男性	3,647	2,405	300	305	293	304	296	283	311	313	1,242	328	305	305	304
女性	3,695	2,440	312	310	312	296	302	288	317	303	1,255	325	314	311	305
その他	71	61	16	3	13	3	3	8	6	9	10	5	1	2	2
総計	7,413	4,906	628	618	618	603	601	579	634	625	2,507	658	620	618	611

訪日経験別回答者数 (人)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験あり	3,349	2,967	476	392	496	500	356	286	186	275	382	84	156	67	75
訪日経験者（1回）	1,163	939	115	199	108	59	145	107	83	123	224	43	86	39	56
訪日経験者（2回以上）	2,186	2,028	361	193	388	441	211	179	103	152	158	41	70	28	19
訪日経験なし	4,064	1,939	152	226	122	103	245	293	448	350	2,125	574	464	551	536
総計	7,413	4,906	628	618	618	603	601	579	634	625	2,507	658	620	618	611

訪日経験別回答者数（割合） (%)

項目	全体	アジア全体									欧米豪全体				
		韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
訪日経験あり	45	60	76	63	80	83	59	49	29	44	15	13	25	11	12
訪日経験者（1回）	16	19	18	32	17	10	24	18	13	20	9	7	14	6	9
訪日経験者（2回以上）	29	41	57	31	63	73	35	31	16	24	6	6	11	5	3
訪日経験なし	55	40	24	37	20	17	41	51	71	56	85	87	75	89	88

調査の概要：エリア区分

エリア	該当する地名
首都圏	東京・横浜・鎌倉・箱根・川越
北関東甲信	日光・草津・軽井沢・上高地・松本・富士山
北海道	札幌・小樽・函館・洞爺湖・富良野/美瑛・ニセコ・知床
東北	仙台・青森・秋田・盛岡・松島・山形・福島・弘前
新潟	新潟
北陸	金沢・富山・立山/黒部
東海	名古屋・高山・白川郷・富士山・伊豆・高野山・伊勢志摩・熊野
関西	大阪・奈良・京都・神戸・姫路・高野山・熊野
中国	広島・宮島・岡山・倉敷・鳥取・松江・出雲
四国	高松・松山・直島・高知・徳島・祖谷溪
九州	福岡・長崎・熊本・鹿児島・別府・由布院・阿蘇・屋久島・宮崎
南九州	鹿児島・屋久島・宮崎
沖縄	沖縄

「北陸旅行希望者」の回答者属性

- 行ってみたい観光地のうち「北陸エリア」を訪問したいと回答した人（＝北陸旅行希望者）は、年代では30代（24.7%）・40代（26.2%）が多い。また、収入では高収入層の割合が相対的に高い（43.0%）。
- 訪日回数別では、3回以上のリピーターが64.0%と最も多い。更なる訪日外国人旅行者の獲得のためには、1、2回目の訪日で旅行者が訪れやすい地域（首都圏、北関東甲信、東海、関西等）における北陸のプロモーション等、訪日リピーター客の次なる目的地として北陸地域が選ばれようとする施策を行うことも一案と考えられる。

■年代

	全体	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	7,413	3,447	2,991	1,896	1,218	204	554	3,322	3,313	1,223	584	1,892	1,296
20代	21.9%	23.4%	21.2%	19.7%	24.0%	19.6%	22.2%	21.2%	23.4%	24.9%	28.4%	24.4%	22.9%
30代	22.2%	22.8%	22.7%	24.2%	25.2%	24.0%	24.7%	23.0%	24.0%	23.5%	25.2%	23.5%	23.3%
40代	22.4%	23.7%	24.1%	24.5%	23.6%	29.4%	26.2%	23.7%	23.3%	23.1%	24.8%	24.5%	25.5%
50代	21.9%	20.9%	21.4%	23.1%	20.0%	24.0%	20.8%	21.5%	20.6%	18.4%	17.1%	19.7%	21.1%
その他	11.6%	9.2%	10.6%	8.4%	7.3%	2.9%	6.1%	10.6%	8.6%	10.1%	4.5%	7.9%	7.2%

■収入 ※

	全体	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	7,413	3,447	2,991	1,896	1,218	204	554	3,322	3,313	1,223	584	1,892	1,296
低収入層	32.0%	27.8%	28.5%	24.9%	24.8%	23.0%	24.2%	28.7%	27.4%	27.6%	24.8%	27.1%	27.3%
中収入層	33.7%	34.0%	34.9%	33.2%	35.1%	33.8%	32.9%	35.0%	33.5%	32.5%	32.5%	33.0%	33.5%
高収入層	34.3%	38.3%	36.5%	41.9%	40.1%	43.1%	43.0%	36.3%	39.1%	40.0%	42.6%	39.9%	39.2%

■訪日回数別

	全体	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	7,413	3,447	2,991	1,896	1,218	204	554	3,322	3,313	1,223	584	1,892	1,296
訪日経験なし	4,064	1,648	1,420	584	422	40	146	1,554	1,374	547	224	638	411
訪日経験あり	3,349	1,799	1,571	1,312	796	164	408	1,768	1,939	676	360	1,254	885
1回	34.7%	32.5%	33.5%	25.3%	25.5%	21.3%	19.6%	32.7%	33.2%	26.8%	25.6%	24.7%	26.4%
2回	23.9%	24.6%	21.5%	22.6%	22.9%	19.5%	16.4%	23.2%	24.1%	22.8%	22.8%	23.6%	25.9%
3回以上	41.4%	42.9%	44.9%	52.1%	51.6%	59.1%	64.0%	44.1%	42.7%	50.4%	51.7%	51.7%	47.7%

「北陸旅行経験者」の回答者属性

- 「北陸エリア」を訪問したことがあると回答した人（＝北陸旅行経験者）は、年代では北陸旅行希望者と同様に**40代が多い（25.8%）**。また、収入では**高収入層での経験者の比率が46.8%と最も高くなっている**。
- 訪日回数別では、**3回以上のリポーターが7割弱**を占めている。一方で、1回目での訪問は18.1%と他エリアと比較して低く、訪日回数の早い段階から北陸地域に「行ってみたい」と感じてもらえる工夫が求められる。

■年代

	Total	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	7,413	1,992	1,075	756	442	77	248	1,299	1,877	443	231	886	552
20代	21.9%	21.0%	21.0%	18.1%	25.8%	13.0%	19.0%	21.6%	21.4%	24.8%	27.3%	21.4%	17.9%
30代	22.2%	24.6%	24.5%	22.9%	23.3%	19.5%	22.6%	24.3%	25.2%	24.2%	21.6%	22.7%	23.9%
40代	22.4%	24.7%	23.4%	26.2%	19.7%	32.5%	25.8%	23.9%	23.5%	21.4%	27.3%	25.6%	27.5%
50代	21.9%	22.3%	24.3%	25.1%	23.8%	27.3%	25.0%	22.9%	21.9%	21.4%	16.9%	20.3%	23.4%
その他	11.6%	7.4%	6.8%	7.7%	7.5%	7.8%	7.7%	7.2%	7.9%	8.1%	6.9%	9.9%	7.2%

■収入 ※

	全体	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	7,413	1,992	1,075	756	442	77	248	1,299	1,877	443	231	886	552
低収入層	32.0%	22.2%	21.0%	20.4%	21.7%	18.2%	21.0%	21.5%	22.7%	21.2%	26.0%	23.3%	20.8%
中収入層	33.7%	34.3%	34.0%	31.0%	30.5%	33.8%	32.3%	35.2%	34.6%	27.8%	29.9%	31.4%	32.2%
高収入層	34.3%	43.5%	44.9%	48.7%	47.7%	48.1%	46.8%	43.3%	42.7%	51.0%	44.2%	45.4%	46.9%

■訪日回数別

	全体	首都圏	北関東甲信	北海道	東北	新潟	北陸	東海	関西	中国	四国	九州	沖縄
サンプルサイズ	3,349	1,992	1,075	756	442	77	248	1,299	1,877	443	231	886	552
1回	34.7%	30.1%	28.0%	17.6%	24.0%	13.0%	18.1%	26.3%	27.5%	23.0%	20.3%	18.8%	17.6%
2回	23.9%	22.6%	20.8%	18.1%	19.2%	18.2%	13.3%	22.0%	22.2%	21.4%	25.5%	17.5%	19.0%
3回以上	41.4%	47.3%	51.2%	64.3%	56.8%	68.8%	68.5%	51.7%	50.3%	55.5%	54.1%	63.7%	63.4%

北陸エリアの認知度・訪問意向・訪問経験

- 「北陸エリア」の認知度は17.9%で、台湾や香港では約半数が「知っている」と回答している。
- 訪問意向は8.2%で、国・地域ごとに特色があるが、アジア全体の比率（9.7%）が欧米豪全体の比率（4.6%）を上回っている。
- 訪問経験について比較すると、欧米豪（7.9%）の比率がアジア全体（7.3%）を上回っており、訪日旅行経験者の中では、欧米豪の旅行者は、アジアの旅行者と比較して、実際に北陸エリアを訪問している割合が高いと考えられる。

全員		各観光地の認知度「これらの観光地を知っていますか？」													
	1 2 地域	アジア全体										欧米豪全体			
	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
サンプルサイズ	7,413	4,906	628	618	618	603	601	579	634	625	2,507	658	620	618	611
北陸エリア	17.9%	22.8%	10.2%	23.8%	46.3%	45.4%	16.1%	14.3%	12.5%	14.1%	8.5%	11.1%	9.0%	9.4%	4.1%
金沢	8.5%	11.1%	5.6%	4.4%	21.0%	24.9%	9.5%	8.1%	7.4%	8.3%	3.4%	4.7%	4.0%	2.8%	1.8%
立山／黒部	10.7%	13.6%	5.6%	20.6%	22.8%	27.4%	9.2%	8.1%	7.4%	7.8%	5.1%	5.6%	5.5%	6.3%	2.8%
富山	6.8%	9.6%	1.8%	1.9%	31.7%	31.7%	2.7%	3.3%	2.1%	2.2%	1.3%	2.1%	1.5%	1.0%	0.5%

日本の地名を知っていると回答した人		各観光地の訪問意向「日本のどこに行きたいですか？」													
	1 2 地域	アジア全体										欧米豪全体			
	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
サンプルサイズ	6,769	4,724	604	599	611	600	571	546	598	595	2,045	571	561	508	405
北陸エリア	8.2%	9.7%	2.3%	8.7%	24.1%	21.2%	6.0%	4.8%	4.2%	5.9%	4.6%	6.5%	3.7%	4.5%	3.2%
金沢	3.0%	3.5%	0.7%	1.0%	8.3%	7.8%	3.2%	1.6%	2.3%	2.9%	1.8%	2.6%	2.0%	1.2%	1.2%
立山／黒部	3.6%	4.1%	1.0%	7.8%	7.4%	6.3%	3.5%	2.0%	1.8%	2.7%	2.5%	3.3%	2.0%	2.6%	2.0%
富山	3.8%	5.2%	1.0%	0.5%	18.5%	15.3%	1.1%	2.0%	1.2%	1.0%	0.6%	0.7%	0.5%	0.8%	0.5%

訪日経験あり×日本の地名を知っていると回答した人		各観光地の訪問経験「日本のどこに行ったことがありますか？」													
	1 2 地域	アジア全体										欧米豪全体			
	全体	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス		
サンプルサイズ	3,349	2,967	476	392	496	500	356	286	186	275	382	84	156	67	75
北陸エリア	7.4%	7.3%	1.7%	5.6%	11.7%	13.4%	5.6%	7.7%	2.7%	5.8%	7.9%	10.7%	7.7%	4.5%	8.0%
金沢	3.5%	3.4%	0.2%	1.0%	4.0%	8.2%	2.2%	4.5%	1.6%	3.6%	4.7%	4.8%	5.1%	1.5%	6.7%
立山／黒部	3.6%	3.5%	1.3%	5.1%	3.2%	6.2%	3.7%	3.8%	1.6%	1.8%	3.9%	6.0%	3.8%	3.0%	2.7%
富山	3.2%	3.5%	0.4%	0.3%	8.1%	8.4%	2.0%	2.8%	0.5%	1.5%	0.8%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%

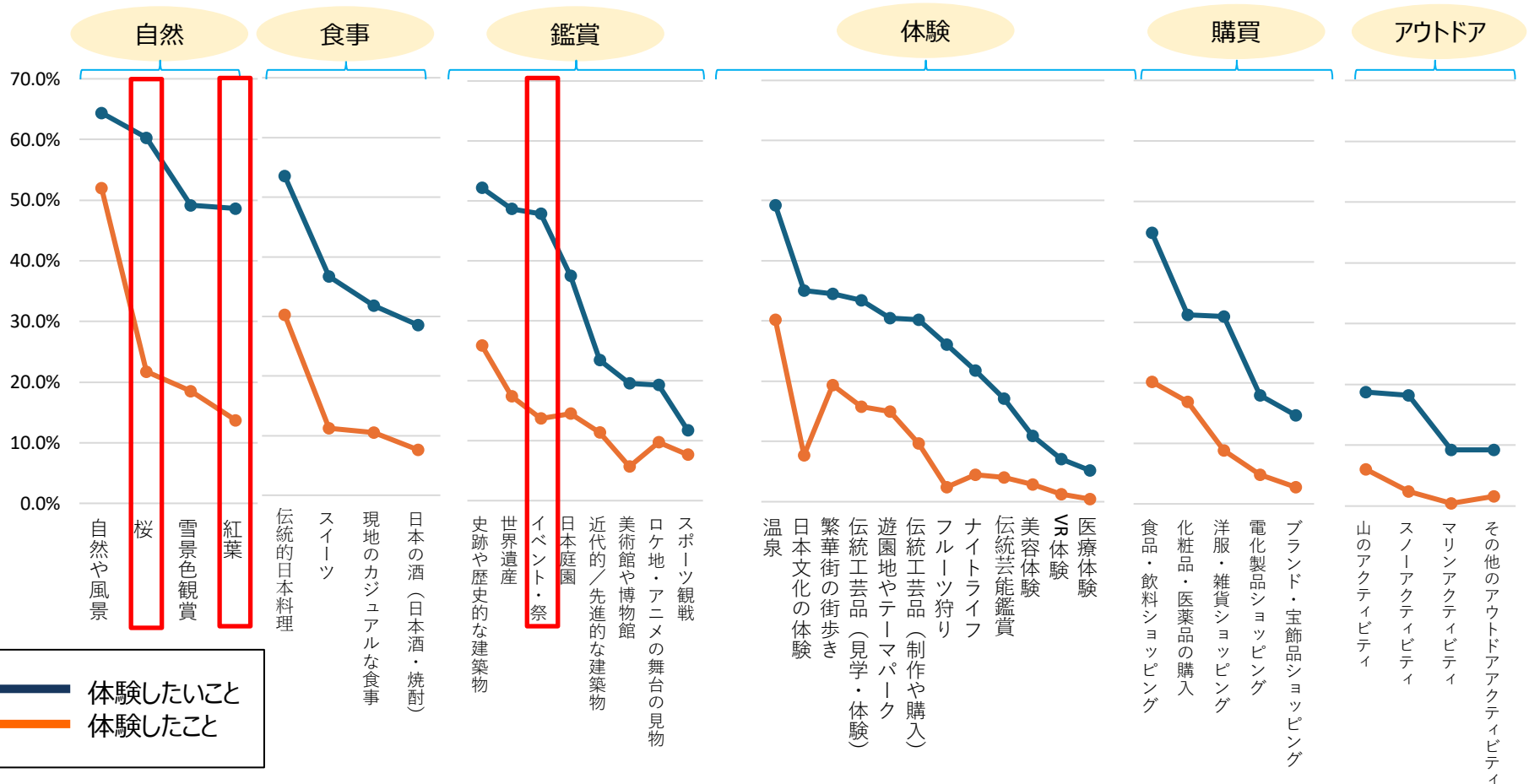
日本の各地で体験したいこと（北陸旅行希望者）・体験したこと（北陸旅行経験者）

- 北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに体験したいことは、「自然や風景」・「桜」・「伝統的日本料理」等の割合が高く、幅広い訪日外国人旅行者に人気の体験として、引き続きニーズに応じていく必要がある。
- 北陸旅行経験者の体験したことは、「自然や風景」・「温泉」・「伝統的日本料理」・「史跡や歴史的な建築物」等の割合が高く、体験したいこと上位と体験したことの上位は概ね一致している。体験したことでは、「食品・飲料ショッピング」や「繁華街の街歩き」等、より手軽なアクティビティが上位にランクインしている。

体験したいこと	体験したいこと		体験したこと	体験したこと	
	北陸旅行希望者 (n=368)	訪日旅行希望者（全体） (n=4,001)		北陸旅行経験者 (n=248)	訪日旅行経験者（全体） (n=3,349)
上位1位	自然や風景 64.4%	自然や風景 55.1%	上位1位	自然や風景 52.0%	自然や風景 42.8%
上位2位	桜 60.3%	桜 52.6%	上位2位	温泉/伝統的日本料理 30.2%	伝統的日本料理 26.3%
上位3位	伝統的日本料理 53.5%	伝統的日本料理 44.1%	上位3位		史跡や歴史的な建築物 25.9%
上位4位	史跡や歴史的な建築物 52.2%	史跡や歴史的な建築物 39.0%	上位4位	史跡や歴史的な建築物 25.8%	温泉 22.1%
上位5位	雪景色観賞/温泉 49.2%	雪景色観賞 37.3%	上位5位	桜 21.8%	桜 21.8%
上位6位		温泉 37.2%	上位6位	食品・飲料ショッピング 20.2%	繁華街の街歩き 21.7%
上位7位	紅葉/世界遺産 48.6%	イベント・祭 35.9%	上位7位	繁華街の街歩き 19.4%	食品・飲料ショッピング 17.9%
上位8位		日本庭園 35.7%	上位8位	雪景色観賞 18.5%	遊園地やテーマパーク 16.5%
上位9位	イベント・祭 47.8%	紅葉 35.6%	上位9位	世界遺産 17.3%	雪景色観賞 16.0%
上位10位	食品・飲料ショッピング 44.8%	世界遺産 35.0%	上位10位	化粧品・医薬品の購入 16.9%	日本庭園 15.6%

日本の各地で体験したいこと（北陸旅行希望者）・体験したこと（北陸旅行経験者）

- 北陸旅行希望者は、自然・食事の分野を体験したいと回答した比率が高い。
- 体験したいことと体験したことの乖離が大きいのは「桜」（38.6%）、「紅葉」（34.9%）、「イベント・祭」（34.1%）であり、**時期性・季節性があるアクティビティについては、体験意向がある旅行者を十分に取り込むことができるよう、適切な情報発信を行う必要がある。**



日本の各地で体験したいこと（北陸旅行希望者）の地域比較

- 欧米豪居住者は、北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに「伝統工芸品（見学・体験）」や「日本庭園」など、日本の文化への関心の高さがうかがえる。
- 北陸旅行希望者のうちアジア居住者は、訪日旅行希望者（全体）と比べて体験したい項目を数多く選択しており、北陸ならではの景観や文化への関心も高い。北陸地域においては、伝統・文化・歴史と観光を結び付け、旅行者に独自の観光体験を提供していくことが期待される。

北陸旅行希望者

	アジア居住者 (n=329)	欧米豪居住者 (n=39)
上位1位	自然や風景 66.3%	自然や風景
上位2位	桜 61.7%	桜 イベント・祭
上位3位	伝統的日本料理 55.3%	48.7%
上位4位	史跡や歴史的な建築物 53.2%	伝統工芸品（見学・体験） /世界遺産 46.2%
上位5位	温泉 52.0%	
上位6位	雪景色観賞 51.4%	史跡や歴史的な建築物 /日本庭園 43.6%
上位7位	紅葉 50.8%	
上位8位	世界遺産 48.9%	伝統的日本料理 38.5%
上位9位	イベント・祭 47.7%	雪景色観賞/紅葉 ロケ地・アニメの舞台の見物
上位10位	食品・飲料ショッピング 46.8%	美術館や博物館 30.8%

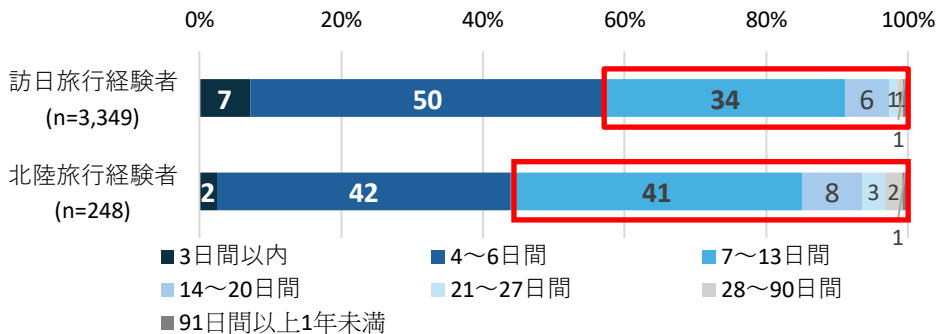
訪日旅行希望者（全体）

	アジア居住者 (n=3,085)	欧米豪居住者 (n=916)
上位1位	自然や風景 55.5%	自然や風景 53.6%
上位2位	桜 52.6%	桜 52.7%
上位3位	伝統的日本料理 43.9%	日本庭園 50.4%
上位4位	雪景色観賞 40.4%	史跡や歴史的な建築物 45.9%
上位5位	温泉 38.8%	伝統的日本料理 45.0%
上位6位	紅葉 37.4%	世界遺産 40.4%
上位7位	史跡や歴史的な建築物 37.0%	イベント・祭 39.1%
上位8位	イベント・祭 34.9%	伝統工芸品（見学・体験） 35.7%
上位9位	世界遺産 33.4%	日本文化の体験 34.1%
上位10位	日本庭園 31.3%	温泉 32.0%

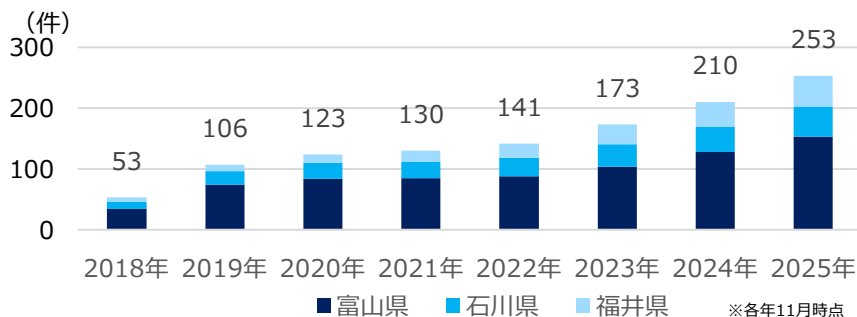
直近の日本旅行で利用した宿泊施設と希望する宿泊施設（北陸旅行経験者）

- 北陸旅行経験者は訪日旅行経験者（全体）と比較して滞在日数が長い傾向にある（周遊する中で北陸を訪れるためと思われる）。
- 北陸旅行経験者においては、日本旅館（温泉あり）への宿泊を希望する割合は80%を超えるが、実際に宿泊した割合は60%を下回っている。訪日の際には、生活様式に合った西洋式ホテルを選択する旅行者が一定数存在すると考えられる。
- 北陸旅行経験者は、現地の人から有料で借りる家・アパート（民宿や民泊等）を希望しても実際には利用していない層がみられる。新型コロナ前と比較すると、北陸地域における民泊の届出数は増加傾向にあるものの、利用者ニーズを満たせていない可能性がある。

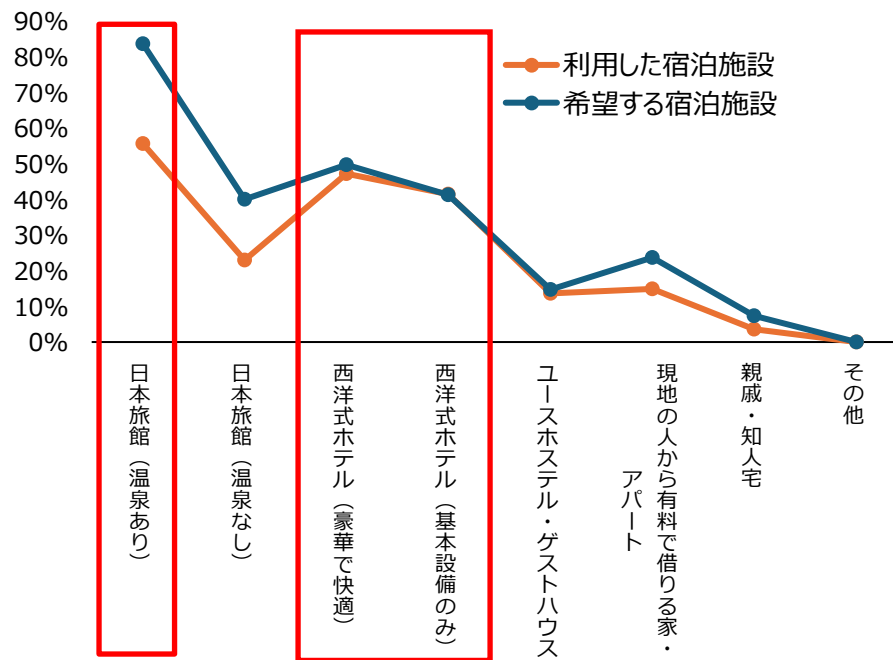
滞在日数



民泊の届出状況



北陸旅行経験者の希望する宿泊施設と実際に利用した宿泊施設の差



利用した宿泊施設：訪日旅行経験者のうち北陸経験者 n=248 ※
希望する宿泊施設：訪日旅行希望者のうち北陸経験者 n=177

(出所)「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」より北陸支店作成

(出所)観光庁「住宅宿泊事業法の施行状況」

※北陸旅行経験者が訪日旅行中に利用した宿泊施設であり、北陸エリアで実際に利用した宿泊施設の割合ではない。

日本の各地で夜間に体験したいこと（北陸旅行希望者）

- 北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに「ナイトマーケット食べ歩き」、「夜景観賞」等の食事や体験が上位にランクインしている。
- 北陸地域は伝統的な食や文化を数多く有し、歴史的な建造物や庭園も有している。2026年3月に当行北陸支店が公表した「文化立県・石川の観光戦略への提言」では、金沢市において夜間の楽しみを増やして宿泊につなげるナイトタイムコンテンツの磨き上げが必要と提言した。金沢市のみならず北陸地域全体においても、夜間に楽しめる体験を充実させていくことは、旅行者の滞在時間を延ばし、消費の活性化・地域の魅力向上に寄与するものと考えられる。

北陸旅行希望者

	アジア居住者 (n=329)	欧米豪居住者 (n=39)
上位1位	ナイトマーケット食べ歩き 50.5%	ナイトマーケット食べ歩き 48.7%
上位2位	夜景観賞 45.0%	夜景観賞 43.6%
上位3位	伝統的な料理店 44.1%	ナイトツアー 35.9%
上位4位	ショッピング 43.8%	ナイトクルーズ 33.3%
上位5位	大衆料理店 39.2%	ライトアップ庭園・風物 伝統的な料理店 30.8%
上位6位	夜間スパ・温泉・サウナ等 37.4%	ショッピング 28.2%
上位7位	ライトアップ庭園・風物 33.7%	カフェやレストラン 28.2%
上位8位	イベント・祭り 30.7%	イベント・祭り/伝統芸能鑑賞 遊園地やテーマパーク
上位9位	カフェやレストラン 26.7%	イベント・祭り 23.3%
上位10位	ナイトクルーズ 25.2%	エンタメレストラン/ナイトドライブ 夜間スパ・温泉・サウナ等 25.6%

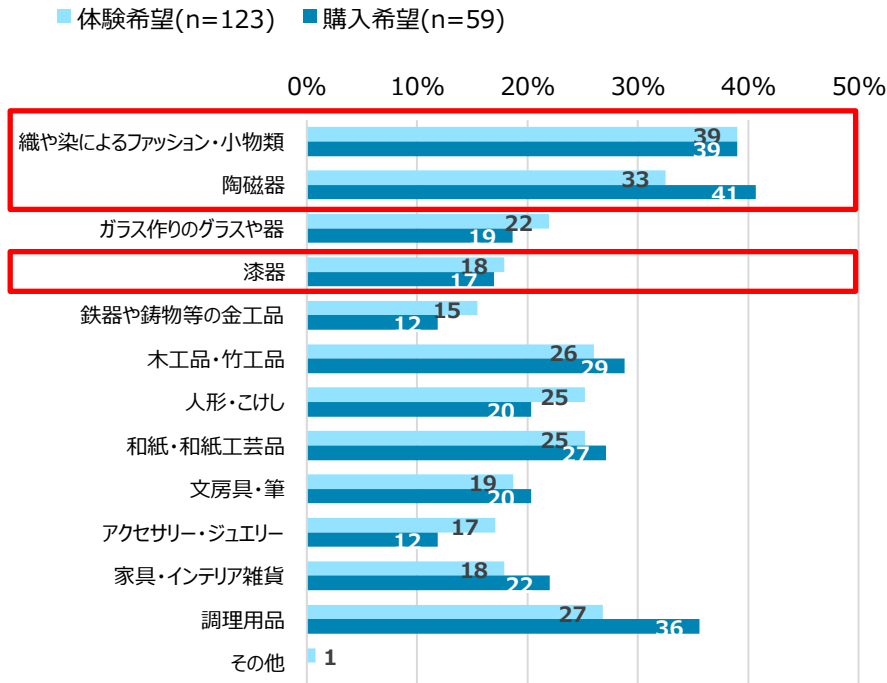
訪日旅行希望者（全体）

	アジア居住者 (n=3,085)	欧米豪居住者 (n=916)
上位1位	ナイトマーケット食べ歩き 46.5%	伝統的な料理店 38.6%
上位2位	ショッピング 38.8%	ナイトマーケット食べ歩き 38.3%
上位3位	夜景観賞 35.9%	カフェやレストラン 28.2%
上位4位	伝統的な料理店 35.0%	バーやパブに行く 27.5%
上位5位	夜間スパ・温泉・サウナ等 28.6%	夜景観賞 27.1%
上位6位	ライトアップ庭園・風物 26.0%	伝統芸能鑑賞 25.2%
上位7位	イベント・祭り 24.2%	ナイトクルーズ 25.0%
上位8位	大衆料理店 23.9%	ライトアップ庭園・風物 24.8%
上位9位	カフェやレストラン 22.8%	イベント・祭り 23.3%
上位10位	ナイトツアー 19.8%	エンタメレストラン 22.9%

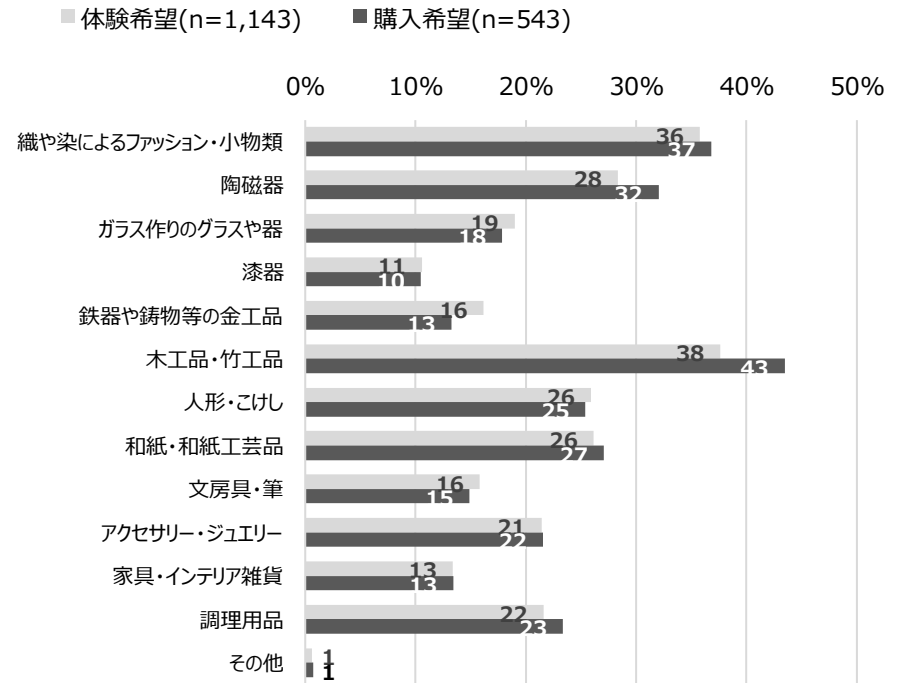
興味のある伝統工芸品（北陸旅行希望者）

- 北陸旅行希望者、訪日旅行希望者（全体）ともに「織や染によるファッション・小物類」、「陶磁器」の体験や購入について関心が高い。
- 「漆器」は、訪日旅行希望者（全体）と比べて北陸旅行希望者の方が、体験や購入を希望する割合が高い。
- 北陸地域には、九谷焼、輪島塗など日本を代表する伝統的工芸品が多数存在する。訪日外国人旅行者の「伝統的日本料理」の体験ニーズと、文化体験の連動・融合を図り、ガストロミーツーリズムとして北陸地域の更なる魅力発信につながることを期待したい。

北陸旅行希望者



訪日旅行希望者（全体）



備考1：「体験希望」は、「訪日旅行で体験したいこと」のうち「伝統工芸品に関する体験」を選択した人が、興味を持っている日本の伝統工芸品の割合を集計した。
備考2：「購入希望」は、「地方訪問時の希望体験」のうち、「その土地で作られた工芸品を購入する」を選択した人が興味を持っている日本の伝統工芸品の割合を集計した。

コラム

コラム①：インバウンドとアウトバウンドの好循環を！

北陸地域のパスポート保有率は13-15%程度

- 北陸地域では小松空港および富山空港において国際線が就航しており、空路で海外から直接北陸地域へ入国する外国人観光客も見受けられる。
- 2025年（速報値）において、小松空港への外国人入国者は9.9万人、富山空港は同1.8万人であった。一方で、小松空港から出国した日本人は3.2万人、同じく富山空港は0.3万人であり、両空港の国際線利用者は外国人の割合が非常に高い。
- 北陸地域のパスポート保有率は都道府県別にみると中位であり、またパスポートの新規発行数は新型コロナ前の8割程度の回復にとどまっている。

国際線・空路の競争力向上に向けて

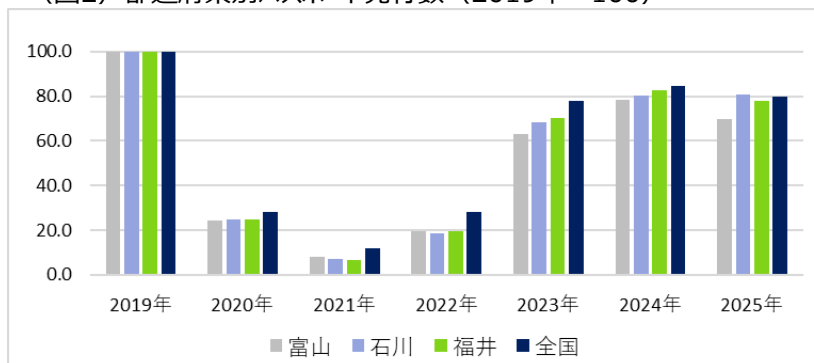
- 空港所在自治体は、海外路線の新規就航や増便を期待し積極的な誘致活動を行っているが、海外からの直行便はチャーター便→季節便→定期便→デイリー化へと運航頻度が高まっていくのが一般的である。また、搭乗率が目標に達しない場合は、減便や撤退となることも珍しくはない。
- 海外の航空会社が世界に数ある空港の中で新規就航や増便を決めるためには、その国・地域の人気や需要だけでなく、運行時間帯や機材繰りなど様々な事情が勘案されるが、就航地から反対方向の需要（海外→日本便であれば日本人のアウトバウンド客）がどの程度見込めるかも大きなポイントになる。
- 北陸地域へのインバウンド客は、航空機の国内線乗り継ぎ又は新幹線を始めとする陸路で来訪する需要が大きいが、海外から北陸地域への直行便利用者数が増加すれば、移動時間の短縮、滞在時間の長期化に繋がる可能性があり、ひいては北陸地域の活性化、観光満足度向上等に寄与すると考えられる。
- 北陸地域の魅力を更に外国人観光客へ伝えるためには、出入国のイン・アウト（例えば成田in-小松outなど）にも利用できる選択肢があると周遊の厚みが増すため、北陸地域の国際線直行便の誘致実現、競争力強化等のためにも、積極的なアウトバウンド増に期待したい。

(図1) 都道府県別パスポート保有率

1位	東京都	32.5%
2位	神奈川県	25.0%
3位	大阪府	22.3%
4位	京都府	21.6%
5位	千葉県	20.8%
16位	石川県	14.5%
20位	福井県	13.5%
27位	富山県	12.5%
全国		18.2%

※2025年推計

(図2) 都道府県別パスポート発行数（2019年 = 100）



コラム②：クルーズ船で認知度UPを！ 1/2

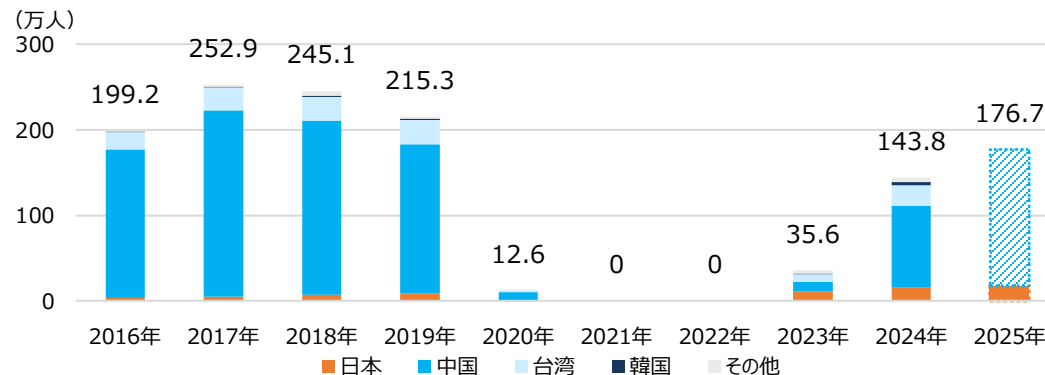
訪日クルーズ客数増加しています！

- 近年、訪日外国人旅行者が増加している中で、クルーズ船による訪日外国人旅行者数も新型コロナ以前の水準に戻りつつある。2025年にクルーズ船で日本へ入国した外国人旅行者数（以下、「訪日クルーズ旅客数」）は176.7万人と新型コロナ直後から大きく回復している。
- 日本を訪れるクルーズ船は、日本各地に寄港することが一般的である。訪日外国人旅行者はクルーズ船内での非日常体験を楽しみながら、日本各地の寄港地で観光することが可能である。そのため、一般的な移動手段とは異なるクルーズ船は、訪日外国人旅行者の新たな旅行手段として存在感を高めつつある。

クルーズ船旅行の特徴

- クルーズ船の最大の特徴は、フェリーのような「移動手段」が目的ではなく「宿泊＋体験＋移動＋観光」が一体となった点にある。グレードにもよるが、船内にはホテルのようにくつろげる客室や、多彩なレストラン、ショーやイベントなどが用意され、移動中の船内体験が旅の目的となる。
- また、寄港地では、船内に荷物を置いたまま観光ができるため、スーツケースなど荷物移動は必要なく、身軽に観光を楽しめる点も特徴である。
- クルーズ船の寄港地はあらかじめプランとして設定されている。前記のとおり、日本を訪れるクルーズ船は日本各地に寄港することが一般的であり、日本の主要な寄港地（博多など）だけでなく地方の様々な寄港地を訪れる。そのため乗客にとっては、これまで訪れたことのない観光地を初めて訪問するきっかけともなっており、寄港地にとっては、訪日外国人旅行者の認知度向上につながる有効な手段といえる。

図表1：訪日クルーズ旅客数（発国別）



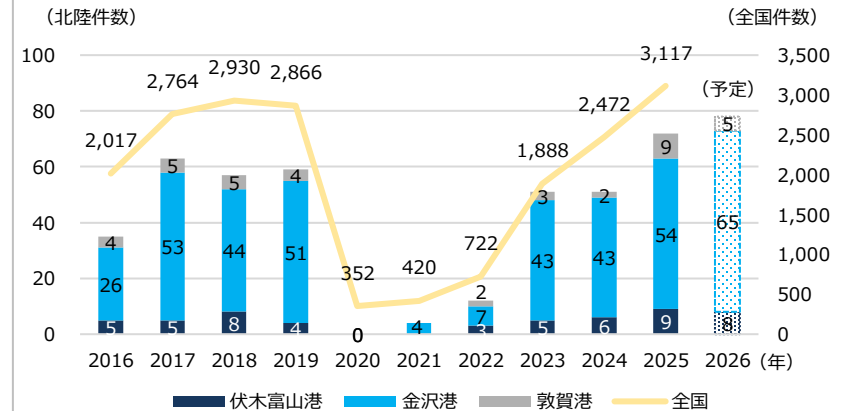
(写真) 金沢港クルーズターミナル (写真提供：石川県観光連盟)

コラム②：クルーズ船で認知度UPを！ 2/2

北陸地域の主要寄港地：金沢港の寄港回数が増加

- 日本海側における主要な寄港地の一つが金沢港である。金沢港のクルーズ船寄港回数は、新型コロナの影響でゼロになったものの年々増加しており、2025年は54回、2026年は65回を予定している。そのうち約半数が数千人規模の大型船であり、朝に入港し夕方から夜に出航する半日程度の滞在が一般的である。
- 大型船の寄港時には、短時間のうち数千人規模が一斉に観光地に訪れるため2次交通の混雑など課題はあるが、飲食やお土産の購入、観光サービスを通じた経済効果は大きいと考えられる。こうした背景から、クルーズ船の寄港地に選ばれること自体が、地域にとって重要な意味を持つだろう。
- 金沢港は主要観光地へのアクセスが比較的良好であり、限られた滞在時間の中でも観光を楽しむやすい環境にある点が強みである。

図表2：全国及び北陸地域のクルーズ船寄港回数



クルーズ船での来訪をきっかけに認知度向上を！

- 北陸地域は金沢以外にも多くの魅力的な地域がある。一方で、本調査における「北陸エリア」の認知度は17.9%にとどまり、訪問経験も訪日3回以上のリピーターが最も多く、初回訪日旅行に選ばれにくい傾向がみられる。
- こうした中、クルーズ船の寄港地として北陸地域が選ばれ、かつ寄港回数が増加することは、地域の認知度向上につながるだけでなく、北陸地域の魅力を体験してもらう機会となる。まずは、クルーズ船で「お試し」で北陸地域を訪れ、次回は「ゆっくり滞在する旅先」として再訪してもらう。クルーズ観光は、北陸インバウンドの魅力を伝える入口としての役割が期待される。

図表3：各観光地の認知度「これらの観光地を知っていますか？」（再掲）

	12地域		アジア全体								欧米豪全体				
	全体	12地域	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	アメリカ	オーストラリア	イギリス	フランス	
サンプルサイズ	7,413	4,906	628	618	618	603	601	579	634	625	2,507	658	620	618	611
北陸エリア	17.9%	22.8%	10.2%	23.8%	46.3%	45.4%	16.1%	14.3%	12.5%	14.1%	8.5%	11.1%	9.0%	9.4%	4.1%
金沢	8.5%	11.1%	5.6%	4.4%	21.0%	24.9%	9.5%	8.1%	7.4%	8.3%	3.4%	4.7%	4.0%	2.8%	1.8%
立山/黒部	10.7%	13.6%	5.6%	20.6%	22.8%	27.4%	9.2%	8.1%	7.4%	7.8%	5.1%	5.6%	5.5%	6.3%	2.8%
富山	6.8%	9.6%	1.8%	1.9%	31.7%	31.7%	2.7%	3.3%	2.1%	2.2%	1.3%	2.1%	1.5%	1.0%	0.5%

(出所) 「DBJ・JTBF アジア・欧米豪 訪日外国人旅行者の意向調査 2025年度版」より北陸支店作成 25

(出所) 国土交通省「我が国港湾のクルーズ船等の動向について」、富山県、石川県、敦賀市の各種資料・ヒアリングによりDBJが作成

(備考) 2025年全国クルーズ船寄港回数は速報値。金沢港の2026年寄港予定回数は、2026年3月11日時点の予定である。

著作権 (C) Development Bank of Japan Inc. 2026
当資料は、株式会社日本政策投資銀行 (DBJ) により作成されたものです。

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、本資料の分析内容・意見に関わる箇所は、執筆者個人に帰するものであり、当行としての見解ではございません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い、引用・転載・複製する際は、必ず、『出所:日本政策投資銀行』と明記して下さい。

(お問い合わせ先)

株式会社日本政策投資銀行 北陸支店 企画調査課 (電話 : 076-221-3216 / E-mail : hinfo@dbj.jp)
富山事務所 (電話 : 076-442-4711)